

(翻 訳)

HUGO BOSS ニュースレター購読に関するプライバシーポリシー

日本

HUGO BOSS AG (Dieselstrasse 12, 72555 Metzingen, Germany) (以下「HUGO BOSS」または「当社」といいます。)では、HUGO BOSS からの新商品、限定的なスペシャルオファー、ライフスタイルおよびファッショントレンドといった最新ニュースに関する HUGO BOSS ニュースレター (以下「ニュースレター」といいます。)を提供しています。ニュースレターは、当社のウェブサイト (以下「当社ウェブサイト」といいます。)からオンラインで、または HUGO BOSS のアウトレット店舗 (以下「アウトレット店舗」といいます。)に来店することで購読することができます。

ここでは、一般データ保護規則 (以下「[GDPR](#)」)といます。) 第 13 条および第 14 条に従い、お客様の個人データを処理するデータ管理者、データ保護オフィサー (セクション A) および個人データの処理にかかるお客様の権利 (セクション B) に関する情報を記載しています。また、ニュースレターの購読に関連して行われるお客様の個人データの処理に関する情報も記載しています。

目次

A.	データ管理者に関する情報	4
I.	データ管理者の名称および連絡先	4
II.	データ保護オフィサーの連絡先	4
B.	データ主体の権利に関する情報	5
I.	アクセスの権利	6
II.	訂正の権利	6
III.	消去の権利（「忘れられる権利」）	7
IV.	処理の制限の権利	7
V.	データポータビリティの権利	8
VI.	異議を述べる権利	9
VII.	同意を撤回する権利	10
VIII.	監督機関に異議を申立てる権利	10

C.	個人データの処理に関する情報	11
1.	当社が処理する個人データの詳細	12
2.	個人データの処理の詳細	16
D.	個人データの取得者ならびに第三国および／または国際組織への個人データの転送の詳細	19
E.	本プライバシーポリシーの発効日および変更	19

A. データ管理者に関する情報

I. データ管理者の名称および連絡先

ニュースレターのデータ管理者は以下に記載のとおりです。

HUGO BOSS AG

Dieselstrasse 12, 72555 Metzingen, Germany

電話番号：+49 7123 94-0

ファックス：+49 7123 94-80259

Eメール：info@hugoboss.com

II. データ保護オフィサーの連絡先

データ保護オフィサーは以下に記載のとおりです。

HUGO BOSS AG

データ保護オフィサー

Dieselstrasse 12, 72555 Metzingen, Germany

電話：+49 7123 94-80999

ファックス：+49 7123 94-880999

Eメール：privacy@hugoboss.com

日本国内における連絡先は以下のとおりです。

– データ保護窓口 –

ヒューゴ ボス ジャパン株式会社

〒107-0062 東京都港区南青山 5-2-1 ALLIANCE 3F

Eメール： privacy-jp@hugoboss.com

B. データ主体の権利に関する情報

データ主体であるお客様は、個人データの処理に関して以下の権利を有しています。

- アクセスの権利（GDPR 第 15 条）
- 訂正の権利（GDPR 第 16 条）
- 消去の権利（「忘れられる権利」）（GDPR 第 17 条）
- 処理の制限の権利（GDPR 第 18 条）
- データポータビリティの権利（GDPR 第 20 条）
- 異議を述べる権利（GDPR 第 21 条）
- 同意を撤回する権利（GDPR 第 7 条第 3 項）
- 異議を申立てる権利（GDPR 第 57 条第 1 項(f)）

お客様は、権利の行使を目的として、当社のデータ保護オフィサー（セクション A.II）にお問い合わせすることができます。

個人データの処理にかかるお客様の権利に関する情報は以下をご覧ください。

I. アクセスの権利

データ主体であるお客様は、GDPR 第 15 条に従った条件に基づいてアクセスおよび情報を取得する権利を有しています。

特に、お客様は、当社がお客様の個人データの処理を行っているかについての情報を当社から取得する権利を有しています。処理が行われている場合、お客様は、個人データおよび GDPR 第 15 条第 1 項に記載する情報にアクセスする権利も有します。これには、処理の目的、処理されている個人データの категорияならびに個人データが開示されたもしくは将来開示される取得者もしくは取得者の category（GDPR 第 15 条第 1 項 (a) ないし (c)）に関する情報が含まれます。

アクセスおよび情報を取得する権利の全ての範囲については、以下のリンクから GDPR 第 15 条をご覧ください。

<http://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/HTML/?uri=CELEX:32016R0679>

II. 訂正の権利

データ主体であるお客様は、GDPR 第 16 条に定める条件に従って訂正する権利を有しています。

特に、お客様は、当社に対し、不当に遅滞することなく、不正確な個人データを訂正させる権利および不完全な個人データを完全なものとする権利を有しています。

訂正の権利の全ての範囲については、以下のリンクから GDPR 第 16 条をご覧ください。

<http://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/HTML/?uri=CELEX:32016R0679>

III. 消去の権利（「忘れられる権利」）

データ主体であるお客様は、GDPR 第 17 条に定める条件に従って消去する権利（「忘れられる権利」）を有しています。

特に、お客様は、GDPR 第 17 条第 1 項に定める事由のいずれかに該当する場合、お客様は、当社に対し、不当に遅滞することなく、個人データを消去させる権利を有しており、また当社は、不当に遅滞することなく、お客様の個人データを消去する義務を負います。これは例えば、個人データが収集された目的またはその他の処理の目的との関係で当該個人データが必要ではなくなった場合をいいます（GDPR 第 17 条第 1 項(a)）。

当社は、当社が個人データを公開しており、かつこれを消去する義務を負っている場合、利用可能な技術および実装費用を考慮した上で、当該個人データを処理しているデータ管理者に対し、お客様が、当該個人データへのリンクまたはコピーもしくは複製物が、同データ管理者によって消去されることを要求した旨の通知するための合理的な手続（技術的な手段を含みます。）をする義務を負います。

消去の権利（「忘れられる権利」）は、GDPR 第 17 条第 3 項に記載するいずれかの事由により処理が必要となる場合は適用されません。これは例えば、法律上の義務の遵守のためまたは法律上の請求権の成立、行使もしくは防禦のために処理が必要となる場合をいいます（GDPR 第 17 条第 3 項（a）および（e））。

消去の権利（「忘れられる権利」）の全ての範囲については、以下のリンクから GDPR 第 17 条をご覧ください。

<http://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/HTML/?uri=CELEX:32016R0679>

IV. 処理の制限の権利

データ主体であるお客様は、GDPR 第 18 条に定める条件に従って処理を制限する権利を有しています。

つまり、GDPR 第 18 条第 1 項に定めるいずれかの条件に該当する場合、お客様は、当社による処理を制限する権利を有しています。これは例えば、個人データの正確性について争う場合をいいます。この場合、処理の制限は、当社による個人データの正確性の検証を可能とする期間において継続します（GDPR 第 18 条第 1 項(a)）。

制限とは、保存された個人データの将来における処理を制限する目的でこれに表示を付すことをいいます（GDPR 第 4 条第 3 項）。

処理の制限の権利の全ての範囲については、以下のリンクから GDPR 第 18 条をご覧ください。

<http://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/HTML/?uri=CELEX:32016R0679>

V. データポータビリティの権利

データ主体であるお客様は、GDPR 第 20 条に定める条件に従ってデータポータビリティの権利を有しています。

つまり、個人データの処理が GDPR 第 6 条第 1 項(a)もしくは第 9 条第 2 項(a)による同意、または第 6 条第 1 項(b)による契約に基づくものであり、かつ当該処理が自動化された手段によって行われる場合、お客様は、一般に、当社に提供したご自身の個人データを、構造化され、一般的に利用されている機械可読性のある形式で受取る権利、ならびに当社から妨げられることなく他の管理者に転送する権利を有しています（GDPR 第 20 条第 1 項）。

特定のデータ処理が GDPR 第 6 条第 1 項(a)もしくは第 9 条第 2 項(a)による同意、または第 6 条第 1 項(b)による契約に基づくものであるかについては、本プライバシーポリシー セクション C に定める処理の法的根拠に関する情報をご覧ください。

お客様は、一般に、データポータビリティの権利を行使する際、技術的に実行可能な場合は、当社から他のデータ管理者に直接お客様の個人データを転送させる権利も有しています（GDPR 第 20 条第 2 項）。

データポータビリティの権利の全ての範囲については、以下のリンクから GDPR 第 20 条をご覧ください。

<http://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/HTML/?uri=CELEX:32016R0679>

VI. 異議を述べる権利

データ主体であるお客様は、GDPR 第 21 条に定める条件に従って異議を述べる権利を有しています。

遅くともお客様との最初の連絡の際に、当社は、データ主体であるお客様に異議を述べる権利について明示的にお知らせします。

詳細については以下をご覧ください。

1. データ主体の特別な状況と関連する根拠に基づいて異議を述べる権利

データ主体であるお客様は、ご自身の特定の状況に基づいて、第 6 条第 1 項(e)または(f)に従って行われる個人データの処理（当該条項に基づくプロファイリングの場合を含みます。）に対していつでも異議を述べる権利を有しています。

個人データの処理が GDPR 第 6 条第 1 項(e)または(f)に基づくものであるかについては、本プライバシーポリシー セクション C に定める処理の法的根拠に関する情報をご覧ください。

特定の状況と関連して異議が述べられた場合、当社は、お客様の利益、権利および自由よりも優先される処理について、または法律上の請求権の成立、行使もしくは防禦について、やむを得ない正当な根拠があることを当社が証明できない限り、お客様の個人データの処理を行いません。

異議を述べる権利の全ての範囲については、以下のリンクから GDPR 第 21 条をご覧ください。

<http://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/HTML/?uri=CELEX:32016R0679>

2. ダイレクトマーケティングに異議を述べる権利

個人データがダイレクトマーケティングのために処理される場合、お客様は、いつでも当該マーケティングのためにご自身の個人データが処理されること（当該マーケティングに関連する範囲でのプロファイリングも含まれます。）に異議を述べる権利を有しています。

ダイレクトマーケティングのために個人データが処理されているか、またその処理の範囲については、本プライバシーポリシー セクション C に定める処理の法的根拠に関する情報をご覧ください。

お客様がダイレクトマーケティング目的での処理に異議を述べた場合、当社は当該目的においてお客様の個人データを処理することはありません。

異議を述べる権利の全ての範囲については、以下のリンクから GDPR 第 21 条をご覧ください。

<http://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/HTML/?uri=CELEX:32016R0679>

VII. 同意を撤回する権利

個人データの処理が GDPR 第 6 条第 1 項(a)もしくは第 9 条第 2 項(a)による同意、または第 6 条第 1 項(b)による契約に基づくものである場合、データ主体であるお客様は、GDPR 第 7 条第 3 項に従い、いつでも同意を撤回する権利を有します。なお、お客様による同意の撤回が撤回前の同意に基づく処理の適法性に影響を与えることはありません。当社は、これについて、お客様による同意前にお知らせします。

個人データの処理が GDPR 第 6 条第 1 項(a)または第 9 条第 2 項(a)に基づくものであるかについては、本プライバシーポリシー セクション C に定める処理の法的根拠に関する情報をご覧ください。

VIII. 監督機関に異議を申立てる権利

データ主体であるお客様は、GDPR 第 57 条第 1 項(f)に定める条件に従って管轄当局に異議を申立てる権利を有しています。

C. 個人データの処理に関する情報

ニュースレターに関連して、異なる個人データは異なる目的で処理されます。例えば、当社は、お客様がニュースレターの購読申込の際に当社に提供した個人マスターデータの処理を行います。

個人データの処理の目的および方法、特に以下の各事項に関する情報については、以下の表をご覧ください。

- 処理対象の個人データまたは個人データの 카테고리
- 個人データの処理の目的
- 処理の法的根拠ならびに、当該処理が GDPR 第 6 条第 1 項(f)に基づくものである場合において、当社もしくは第三者が求める正当な利益
- 個人データの取得者または取得者の 카테고리（該当がある場合）
- 個人データが保管される期間、または、それが不可能なときは、当該期間を決定するために用いられる基準

当社がデータ主体であるお客様から個人データを取得する場合、個人データの提供が法律上もしくは契約上の要件によるものなのか、お客様が個人データを提供する義務を負っているのか、また当該個人データを提供しない場合に生じうる結果についても、以下の表に記載しています。

当社がデータ主体であるお客様から個人データを取得しない場合、個人データがどの情報源に由来するものなのか、および、該当がある場合は、公知の情報源に由来するものなのかについても、以下の表に記載しています。

なお、GDPR 第 22 条の意味における自動化された意思決定は行われません。

1. 当社が処理する個人データの詳細

処理対象となる個人データの категория	カテゴリーに含まれる個人データ	情報源	データの提供義務	保管期間
お客様によるニュースレターの購読のために当社が収集する個人マスターデータ （「個人マスターデータ」）	敬称、姓名、苗字、携帯電話番号/メールアドレス。 ウェブサイトでの登録の場合、各国版のウェブサイトの情報も記録します。 お客様がニュースレターの購読申込をしたアウトレット店舗および国の情報も記録します。	ニュースレターの購読者	ニュースレターの購読にあたって携帯電話番号/メールアドレスの提供は必須となっています。提供されない場合はニュースレターを購読することはできません。 敬称および姓名の提供は任意であり、これらを提供する義務はありません。	当社は、この情報をニュースレターを購読されている限り保管します。 当社は、法定の保管期間において証拠保全を目的として、または当社が当該データを文書化する義務を負っている場合、ならびに、お客様が購読を中止した年の年末から 3 年間の暫定期間、および法律上の紛争が生じた場合にこれが終結するまで、当該データを保管します。
ニュースレターの購読時または購読中止時に技術的に生成されるプロトコルデータ（「購読・購読中止データ」）	購読日時、ダブルオプトインの手順における購読確認の日時、確認に使用された端末の IP アドレス、ニュースレターの購読中止の日時	ニュースレターの購読者		当社は、この情報をニュースレターを購読されている限り保管します。 当社は、法定の保管期間において証拠保全を目的として、または当社が当該データを文書化する義務を負っている場合、な

処理対象となる個人データの 카테고리	카테고리에含まれる個人 데이터	情報源	データの提供義務	保管期間
				らびに、お客様が購読を中止した年の年末から 3 年間の暫定期間、および法律上の紛争が生じた場合にこれが終結するまで、当該データを保管します。
ダブルオプトインの手順においてニュースレターの購読が確認された時に技術的な理由で生成されるプロトコルデータ（「プロトコルデータ」）	ダブルオプトインの手順における購読確認の日時および確認に使用された端末の IP アドレス	ニュースレターの購読者	プロトコルデータの提供はニュースレターの購読にあたって必須となります。プロトコルデータを提供されない場合はニュースレターを購読することはできません。	当社は、この情報をニュースレターを購読されている限り保管します。 当社は、法定の保管期間において証拠保全を目的として、または当社が当該データを文書化する義務を負っている場合、ならびに、お客様が購読を中止した年の年末から 3 年間の暫定期間、および法律上の紛争が生じた場合にこれが終結するまで、当該データを保管します。
ニュースレターにアクセスした際にこれに組み込まれているウェブビーコン**を利用してハイパーテキスト・トランスファー・プロトコル（HTTP）を通じて技術的に生成される	IP アドレス、アクセスの日時	ニュースレターの購読者	ニュースレター-HTTP データの提供はニュースレターの購読にあたって必須となります。	セキュリティに関連する事由が生じない限り（例えば DDoS 攻撃等）、データ主体を識別可能な

処理対象となる個人データの 카테고리	カテゴリーに含まれる個人データ	情報源	データの提供義務	保管期間
プロトコルデータ（「ニュースレター-HTTP データ」）			当該データを提供されない場合はニュースレターを購読することはできません。	形式で最長 7 日間サーバーのログファイルに格納されます。 セキュリティに関連する事由がある場合、サーバーのログファイルは、当該セキュリティ上の事由が消滅し、完全に解明されるまで格納されます。
ニュースレターにアクセスした際に購読者のブラウザに格納される cookie*に書き込まれるデータ（「ニュースレタークッキーデータ」）	ニュースレターの購読者を（再）識別するための固有の ID	ニュースレターの購読者	このデータを提供する義務はありません。ニュースレター上のリンクから当社のウェブサイトを訪し、クッキーポリシーを承諾した場合に限り転送されます。	当社は、この情報をニュースレターを購読されている限り保管します。
仮名を利用してニュースレターでの利用行動を解析することにより当社が作成する利用プロファイルのデータ（「ニュースレター利用プロファイルデータ」）	ニュースレターの利用に関するデータ、特に訪問ページ、訪問頻度、アクセスしたニュースレター上のクリック行動	自動生成	-	当社は、この情報をニュースレターを購読されている限り保管します。
当社ウェブサイトへの訪問時にハイパーテキスト・トランスファー・プロトコル（HTTP）を通じて技術的に生成される	IP アドレス、お客様のインターネットブラウザの種類およびバージョン、使用したオペレーティングシステム、	ニュースレターの購読者	このデータを提供する義務はありません。ニュースレター上のリンクから当社のウェブサイト	当社は、この情報をニュースレターを購読されている限り保管します。

処理対象となる個人データの категория	カテゴリーに含まれる個人データ	情報源	データの提供義務	保管期間
プロトコルデータ（「ウェブサイト HTTP データ」）	訪問ページ、訪問元のページ（参照 URL）、訪問日時		を訪問し、クッキーポリシーを承諾した場合に限り転送されます。	
当社ウェブサイトへのアクセス時にニュースレターの購読者のブラウザに格納される cookie に書き込まれるデータ（「ウェブサイトクッキーデータ」）	ニュースレターの購読者を（再）識別するための固有の ID およびキャンペーンコンテンツの向上を目的として集計されたセグメントデータ	ニュースレターの購読者	このデータを提供する義務はありません。ニュースレター上のリンクから当社のウェブサイトを訪し、クッキーポリシーを承諾した場合に限り転送されます。	当社は、この情報をニュースレターを購読されている限り保管します。

* Cookie（クッキー）とは、ウェブサイトを訪した際に利用者のブラウザを通じて利用者の端末機器に格納される情報が含まれた小さなテキストファイルです。同じ端末機器を使用してウェブサイトを再度訪した場合、cookie と cookie に格納された情報にアクセスすることができます。保存期間に応じて一時的な cookie と永続的な cookie に区別されます。一時的な cookie は、セッション cookie とも呼ばれており、ブラウザを閉じると自動的に削除されます。永続的な cookie はブラウザを閉じた後も利用者の端末機器に一定期間保存されます。

** ウェブビーコン（トラッキングピクセルとも呼ばれます。）とは、テキストメッセージまたはウェブサイトへのアクセスがあった際にログファイルを記録し、分析することを可能とする小さな画像です。

2. 個人データの処理の詳細

2.1 法律上の定めに基づく個人データの処理

個人データの処理の目的	処理対象の個人データの種類	法的根拠および（該当がある場合は）正当な利益	取得者
お客様から当社に対するニュースレターの購読を目的としたデータの提供を可能とするウェブ・アプリケーションのウェブサイト上における提供	HTTP データ、個人マスターデータ、プロトコルデータ、購読・購読中止データ	利益の調和（GDPR 第 6 条第 1 項(f)）。当社の正当な利益とは、ニュースレターの購読者から要求されたウェブサイトのコンテンツを提供することです。	ホスティングプロバイダー、ニュースレターサービスプロバイダー
お客様から当社に対するニュースレターの購読を目的としたデータの提供を可能とする（電子）購読申込フォームのアウトレット店舗における提供	本プライバシーポリシー 1.1 に記載するデータ	利益の調和（GDPR 第 6 条第 1 項(f)）。当社の正当な利益とは、アウトレット店舗において購入申込フォームを提供することです。	お客様がニュースレターの購読申込をしたアウトレット店舗、ニュースレターサービスプロバイダー
ニュースレターの購読確認のための「ダブルオプトイン」手順。 上記の目的のため、当社はニュースレターの購読の際にお客様から提供された携帯電話番号/メールアドレスに確認をお願いするテキストメッセージを送信します。このテキストメッセージに記載されている確認用のリンク先にアクセスすることによりニュースレターの購読者が携帯電話番号/メールアドレスを確認した時をもって、購読が有効となります。	個人データマスター、プロトコルデータ、購読・購読中止データ	利益の調和（GDPR 第 6 条第 1 項(f)）。当社の正当な利益とは、お客様が SMS マーケティングの受信に同意されたことを法的かつ安全に文書化することです。	テキストメッセージサービスプロバイダー、ニュースレターサービスプロバイダー

個人データの処理の目的	処理対象の個人データの種類	法的根拠および（該当がある場合は）正当な利益	取得者
当社が個人マスターデータを維持および更新する顧客データベースの運用	個人マスターデータ	利益の調和（GDPR 第 6 条第 1 項(f)）。当社の正当な利益とは、顧客データを最適に維持するための基盤として整理された顧客データを運用することです。	ホスティングプロバイダー
書面による購読申込フォーム、ならびに証拠保全を目的とした、または法律上の請求権の成立、行使もしくは防禦のための電子署名データのアーカイブ化	個人マスターデータ	利益の調和（GDPR 第 6 条第 1 項(f)）。当社の正当な利益とは、法律上の請求権を成立させ、行使または防禦することです。	アーカイブサービスプロバイダー
書面による購読申込フォームの電子化。当該フォームで収集した個人マスターデータを当社の顧客データベースに転送します。	個人マスターデータ	利益の調和（GDPR 第 6 条第 1 項(f)）。当社の正当な利益とは、顧客データを最適に維持するための基盤として、標準化され、整理された顧客データベースを運用することです。	アーカイブサービスプロバイダー
携帯電話番号/メールアドレスのデータの正確性を確保するため、当社は当該データの認証を行います。	個人マスターデータ	法律上の義務の遵守のために必須となります（GDPR 第 5 条第 1 項(d)「正確性」）（GDPR 第 6 条第 1 項(c)）。 利益の調和（GDPR 第 6 条第 1 項(f)）。当社の正当な利益とは、データの正確性を確保することです。	IT サービスプロバイダー、 テキストメッセージプロバイダー

2.2 お客様の同意に基づく個人データの処理

個人データの処理の目的	処理対象の個人データの種類	法的根拠および（該当がある場合は）正当な利益	取得者
<p>当社のオファーのための、関連性のあるパーソナライズされたマーケティングの要素に関する情報素材（例えば、当社に関する情報、商品情報、ニュースレター、顧客調査および特別なオファー、またはコンテスト、イベントおよびプロモーションへの当社もしくは参加店舗からの参加案内等）のテキストメッセージ／マルチメディアメッセージおよび携帯端末用の当社のアプリ上のプッシュ通知（ただし、お客様が当社アプリ上でプッシュ通知の受信に同意している場合）による送信。このため、当社は、その都度、当社の顧客データベースに保管されている最新のデータを利用します。</p> <p>携帯端末用の当社アプリの設定時のメッセージ。</p> <p>当社は、当社のマーケティング素材上の性別特有のコンテンツに適応させるため、購読時に指定された敬称および氏名を利用します。</p> <p>当社は、当社のマーケティング素材上の言語および国特有のコンテンツを決定するために購読時に記録された国の情報を利用します。</p> <p>当社はお客様が購読申込をしたアウトレット店舗の情報を利用します。</p>	<p>本プライバシーポリシー 1.1 に記載するデータ</p>	<p>同意（GDPR 第6条第1項(a)）。</p>	<p>テキストメッセージプロバイダー、配送業者、調査会社、ニュースレターサービスプロバイダー</p>

D. 個人データの取得者ならびに第三国および／または国際組織への個人データの転送の詳細

取得者	取得者の役割	取得者の所在地	第三国および／または国際組織への転送に対する妥当性の判断または適切もしくは相当の保護策
ホスティングプロバイダー	データ処理者	欧州	
ニュースレターサービスプロバイダー	データ処理者		
アウトレット店舗	データ処理者	日本	
IT サービスプロバイダー	データ処理者	欧州	
IT サービスプロバイダー（グループ内）	データ処理者	米国	標準的なデータ保護規定
IT サービスプロバイダー（グループ内）	データ処理者	香港	標準的なデータ保護規定
テキストメッセージプロバイダー	データ処理者	欧州	
購読サービスプロバイダー（グループ内）	データ処理者	欧州	

E. 本プライバシーポリシーの発効日および変更

本プライバシーポリシーは、**2020年06月16日**に発効します。

技術開発および／または法律上もしくは規制上の要件の変更により、本プライバシーポリシーの変更が必要となることがあります。

本プライバシーポリシーの最新版はいつでも www.hugoboss.com で入手することができます。